

平成 30 年 9 月 3 日

循環器内科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 リード抜去症例の実態調査
- Japan Lead extraction registry (J-LEX レジストリ) -

研究機関 市立札幌病院 循環器内科

研究責任者 循環器内科 横式 尚司

研究の目的

ペースメーカーや植込み型除細動器といった不整脈のデバイス治療に際しては、経静脈リードの植込みが必要です。一方、稀ではありますが、リード感染、断線、静脈閉塞といった合併症のため、リード抜去を余儀なくされることがあります。この研究は、本邦におけるリード抜去の実態を明らかにするために日本不整脈学心電学会にて計画されました。

研究の方法

1 対象となる患者さん

2018年9月以降 ～ 2028年7月31日に当院でリード抜去術を受けられた患者さん。

2 利用するカルテ情報

本研究に必要な項目は、通常の診療記録から得られる情報です。

- ① 年齢、性別、既往歴、併存疾患など
- ② リード抜去術の手技内容
- ③ リード抜去術の合併症

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院循環器内科 横式尚司、鳥羽真弘
電話： 011-726-2211（内線：5517）